



明治大学体育会 ソフトテニス部



OB・保護者の皆様方のご支援に感謝！！

2019年度 事業報告 資料提供 協力 明大スポーツ新聞部

**”前へ”常に挑戦する
明治大学ソフトテニス部**



加納明彦明治大学体育会
ソフトテニス部部长

明治大学は、封建的な社会から近代社会へと変容する時代に、個人の権利を確立し、自由な社会を実現するために、フランス法学を教授する明治法律学校として、1881(明治14)年に創立されました。学部増設にもなつて総合大学となつた現在でも、創立時からの伝統によって確立された建学の精神「権利自由、独立自治」に基づき、自由と自治の精神を養うことを明治大学の理念としています。

この基本理念を130年にわたり受け継ぎ、どの時代にも社会をリードし、新しい価値観を創造し、挑戦してきました。さらに、21世紀の未来を見据え、明治大学は「世界へ」「個人」を強め、世界をつなぎ、未来へ」を大学の基本理念として付加するとともに、「知の創造と人材の育成を通して、自由で平和、豊かな社会を実現する」を使命とし、教育・研究・社会貢献等に取り組んでおります。

このようなか、明治大学体育会ソフトテニス部は、平成17年に創部百周年を迎えました。この間、世界選手権大会優勝をはじめ多くのアスリート並びに指導者を送り出し、挑戦することが未来を切り開く「前へ」を合言葉に輝かしい歴史を築いてきました。

現在、部員は男子18人、女子11人少数精鋭のクラブとして全国に存在感を示しております。2019年度では男子部が東日本学生大学対抗戦で6年ぶりの優勝を果たしたものの全日本学生大学対抗戦では準優勝と2年連続優勝を逃しましたが全国に明治大学の名を轟かせました。

今後も全日本大学対抗戦優勝を目標に、「常に挑戦すること」「情熱をもって取り組むこと」を念頭に部員一同練習に励んで参りますので、皆様方のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

チーム目標

全日本大学対抗戦の優勝を目指します。
部活動を通して個性豊かで社会に貢献できる人を目指します。

部員の心構え

- ◆文武両道
- ◆努力目標は高く大きく
- ◆言葉ではなく行動で範を示す
- ◆何事にも真摯に立向い責任を全うする
- ◆コミュニケーション能力の拡充
- ◆規律の徹底

チーム理念

“本質への追及”と“限界への挑戦”

齊藤孝弘前監督の教え「感謝と思いやりの行動」こそ真のアスリートを育てる秘訣である。さらに「本質への追及」「限界への挑戦」を常に指導された。本質への追及とは迷ったら初心の戻ること、限界への挑戦は自分で限界を作らず、苦しいことにも選手自ら自発的に進んで取り組むことです。

齊藤監督は明治大学ラグビー部の故北島忠治先生を尊敬しており、ラグビー部の理念である「前へ」の影響を色濃く受け、基本に忠実である「本質への追及」と前へのチャレンジ精神である「限界への挑戦」という理念を築き上げ学生の指導にあたりました。これが今でも明治大学体育会ソフトテニス部の理念として引き継がれています。

- 指導者 (齊藤前監督の教えを引き継いでいます)
- 監督 櫻井智明 埼玉県ソフトテニス連盟副会長
川口市ソフトテニス連盟会長
- 助監督 内田 博 昭和49年卒
- コーチ 北本 英幸 平成3年卒
日本ソフトテニス連盟常任理事兼強化委員長
- コーチ 齋藤 広宣 平成2年卒
ナショナルチーム女子監督
- コーチ 菅野 創世 平成18年卒
ナショナルチーム女子コーチ
- コーチ 太田 博勝 昭和52年卒
昭和学院高等学校監督



快進撃は止まらない。昨年度、男子は創部初のインカレ団体戦優勝、女子は宮下こころ(営2=文化学園大杉並)が皇后杯連覇とチーム史に残る輝かしい結果を収めたソフトテニス部。

今年度も男女ともに日本一を狙える実力は健在だ。過去の栄光を越え、さらなる高みへ。本特集は進化を続ける選手たちを取り上げる。

(<https://meisupo.net/special/list/36>)

船橋市長杯インドア

◆3・10 船橋市長杯インドア大会
(船橋市民体育館)

本学からは、男子本倉・丸山・北本・齋藤、女子は安西・宮下(二)・宮下(真)・上田の4ペアが出場し、男子の優勝 北本(商1)・齋藤(商2)が優勝を果たした。



▼男子 予選リーグ

- 北本・齋藤組3勝1位
- ④1 福田・田中(船橋クラブ)
- ④2 小川・木川(小金原クラブ)
- ④1 諸口・山口(ベスト)

本倉・丸山組2勝1敗

- ④1 大和・酒井(木更津総合高)
- ④1 藤澤・下道(川口市役所)
- 1 ④倉橋・宮崎(中央・船橋ク)

決勝リーグ

- 北本・齋藤3 ④倉橋・宮崎(中央・船橋ク)
- 北本・齋藤④1 2 溝渕・山本(日体)

▼女子 予選リーグ

- 安西・宮下組2勝1敗
- ④1 0 浦田・高橋(和洋女子大)
- ④1 3 飯田・上野(ベスト)
- 0 ④廣澤・十九浦(青山学院大)
- 宮下・上田組 2勝1敗
- ④1 1 宮野・濱名(和洋女子大)
- 2 ④林田・島津(東京女子体育大)
- ④1 1 神崎・保科(青山学院大)

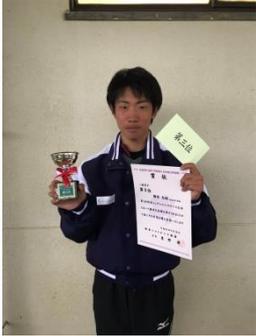
関東シングルス選手権

◆3・10 関東シングルス選手権(千葉県スポーツセンター)

本学からは、男子中平、米澤、根本、女子笠井が出場した。

▼男子 予選リーグ

- 中平慎吾
- ③1 0 佐久間秀道(日体大)
- 1 ③松橋嘉依(木更津総合高)
- ③1 0 木吉貴証(教員クラブ)
- 根本大地
- ③1 2 関口祥平(比企滑川クラブ)
- ③1 1 星森人(太田原クラブ)
- ③1 0 菅家孝太(日体大)



米澤要

- ③1 2 高橋衛司(市川クラブ)
- ③1 2 天野航成(甲府南高)
- 0 ③高橋拓未(東京ガス)
- 男子決勝トーナメント
- 1 回戦
- 中平慎吾2 ④吉田樹(早稲田大)
- 根本大地④1 渡邊大凱(早稲田実業)

準々決勝
根本大地④1 3 武井優磨(東京経済大学)

準決勝
根本大地2 ④谷岡凌太郎(国学院大学)

▼女子 予選リーグ

- 笠井菜々子
- ③1 2 鈴木理奈(文大杉並高)
- ③1 0 大根田悠花(白鷗足利高)
- 1 ③中村鈴花(昭和学院高)

春合宿

◆春合宿3月20日(土)24日(水)北茨城市磯原地区公園テニスコート

今年度は、茨城県ソフトテニス連盟下妻利之会長のご尽力により令和元年9月29日から開催される茨城国体のメインコートで5日間に渡り実施しました。



男子では齋藤広宣・北本英幸・菅野創世コーチによる実技指導、女子では石川孝アドバイザーによる徹底した指導が行われました。

また、茨城県の国体選手との強化試合、昭和学院高校との合同練習などが実施され有意義な合宿となりました。

◆平成31年歓送迎会 3月18日駿河台キャンパス

3月18日午後4時から保護者会が開催され、多くのOBの皆様方にお集まりいただき今年も盛大に開催されました。

特に昨年創部以来初めての全日本学生大学対抗戦優勝に沸いた締めくくりと新たなスタートを期しての歓送迎会でした。

卒業生を代表し丸岡俊介前キャプテンから答辞があり4年間お世話になったお礼が述べられ、新入生男子3人女子3人が紹介されました。

保護者の皆さんOBの皆さんご臨席ありがとうございました。



全日本女子選抜

◆4・6全日本女子選抜ソフトテニス大会(駒沢体育館)

本学からは、木瀬・鈴木・宮下(こ)が東京女子体育大学の林田選手と組んで出場した。

新人の木瀬も素早いフットワークで1戦目を勝ち抜いたが2戦目は実業団の壁を打ち抜けなかった。

一方、林田・宮下組は初戦から全快で見事に優勝を果たした。

▼予選リーグ

木瀬・鈴木

④1-1 赤川・白崎(埼玉平成・文大杉並)

④④ 徳川・黒木(ヨネックス)

林田・宮下

④④ 0-0 高井・吉田(東京女子体育大)

④④ 1-1 濱谷・森松(ダンロップ)

決勝リーグ

⑤⑤ 2-2 中川・芝崎(ナガセケンコー)

⑤⑤ 3-3 高橋・半谷(どんぐり北広島)

⑤⑤ 3-3 徳川・黒木(ヨネックス)



東京6大学リーグ戦 女子優勝

◆4・20、27(早稲田大学エスコート)

東京6大学春季リーグ戦が開幕、4・20には六大学選手権が開催され、27日にはリーグ戦が開催されました。

選手権では、男子本倉・丸山組が優勝しベスト8に米澤(優)・水崎組が入った。

女子では原口・鈴木組が準優勝、木瀬・宮下組が第3位入賞とまずまずの成績を残しました。

リーグ戦では男子は早稲田大学に5対2で敗れ準優勝に終わりましたが、関東リーグに向け手こたえを感じた試合となった。

女子は昨秋立教大学に敗れ準優勝に終わりましたが、その雪辱を果たし春季大会2年連続の優勝を成し遂げた。

応援に駆け付けて頂きましたOB並びに保護者の皆さん有難うございました。

▼男子

○明治6 1-1 立教

根本・鈴木 ⑤⑤ 3-3 小倉・齋藤

明渡・山口 ⑤⑤ 永田・土井

本倉・齋藤(大) ⑤⑤ 4-4 久保・渡邊

北本・丸山 ⑤⑤ 2-2 田島・山館

米澤(優)・齋藤龍 ⑤⑤ 2-2 日下部・西

中平・米澤要 ⑤⑤ 4-4 松本・上西

金子・田中 ⑤⑤ 1-1 高畑・大関井

○明治5 1-2 法政

本倉・齋藤大 ⑤⑤ 3-3 根本・渡邊

根本・鈴木 ⑤⑤ 2-2 稲葉・西

米澤(優)・齋藤龍 ⑤⑤ 2-2 土佐・道下

野村・佐藤 ⑤⑤ 1-1 下平・福田

中平・米澤要 ⑤⑤ 1-1 近藤・洞谷

北本・丸山 ⑤⑤ 0-0 井上・藤本

金子・田中 ⑤⑤ 4-4 前川川嶋

●明治2 1-5 早稲田

本倉・齋藤大 ⑤⑤ 1-1 水木・白井

米澤(優)・齋藤龍 ⑤⑤ 0-0 山根・上松

根本・鈴木 ⑤⑤ 4-4 因・内田

北本・丸山 ⑤⑤ 1-1 後藤・増田

黒龍・水崎 ⑤⑤ 1-1 内本・田嶋

中平・米澤要 ⑤⑤ 3-3 福井・安谷

金子・田中 ⑤⑤ 1-1 長尾・奥村

○明治4 1-3 慶応

本倉・齋藤大 ⑤⑤ 2-2 尾崎・中島

明渡・野村 ⑤⑤ 1-1 村野・小杉

中平・米澤要 ⑤⑤ 1-1 栗原・野口

米澤(優)・齋藤龍 ⑤⑤ 4-4 青山・浜田

北本・丸山 ⑤⑤ 2-2 今泉・小坂橋

根本・鈴木 ⑤⑤ 4-4 小田島・横田

金子・田中 ⑤⑤ 4-4 櫻井・須藤

○明治7 1-0 東大

本倉・齋藤龍 ⑤⑤ 0-0 高瀬・平賀

北本・齋藤大 ⑤⑤ 0-0 水谷・小久保

金子・田中 ⑤⑤ 0-0 藤田・大竹

根本・鈴木 ⑤⑤ 0-0 小倉・和田

米澤(優)・水崎 ⑤⑤ 0-0 中村・北岡

明渡・佐藤 ⑤⑤ 1-1 星・森山

野村・山口 ⑤⑤ 4-4 水谷・森脇



▼女子

○明治2 1-1 慶応

原口・上田 ⑤⑤ 1-1 秋本・花岡

木瀬・笠井 ⑤⑤ 3-3 遠藤・平本

宮下・鈴木 ⑤⑤ 1-1 荒木・中井

○明治2 1-1 早稲田

原口・上田 ⑤⑤ 1-1 松井・高嶺

木瀬・笠井 ⑤⑤ 1-1 小山・川村

宮下・鈴木 ⑤⑤ 4-4 下江・花園

○明治3 1-0 立教

原口・上田 ⑤⑤ 2-2 前山・森本

木瀬・笠井 ⑤⑤ 0-0 森岡・石田

宮下・鈴木 ⑤⑤ 1-1 松永・土井

○明治3 1-0 法政

原口・上田 ⑤⑤ 1-1 松村・金子

安西・柿沼 ⑤⑤ 2-2 中村・永野

宮下・鈴木 ⑤⑤ 0-0 工藤・俵



◆5・13 実業団チームとの合同練習(トヨタスポーツセンター)

ダンロップ(株) アドマテックス(株) トヨタ自動車(株) 太平洋工業(株)の実業団チームとの合同練習を実施しました。

今年で2回目となりますが、実業団チームの意識の高さと会社への誇り、会社を代表しているという認識を目的の当たりとして、少しでも学生の意識が変わればと思う。

また、この遠征については、OBの皆様方から頂きました未来サポート資金の一部を取崩し、費用の一部に充てています。心から御礼を申し上げます。

宿敵・早大破るも王座戦には届かず、関東学生春季1部リーグ戦



(C) 朝日スポーツ

○明大5-0法大

本倉 齋藤龍 ⑤-0 根本・西
金子 鈴木 5-3 稲葉・福田
根本 ④-3 下平
北本・丸山 ⑤-1R 近藤・洞谷
中平・米澤 ⑤-1 前川・川嶋

○明大4-1日体大

金子 鈴木 3-⑤ 溝端・山本
北本・丸山 ⑤-3 橋本・星野
根本 ④-3 垣本
本倉・齋藤龍 ⑤-1 川崎・川上
中平・米澤 ⑤-4 原口・森田

○明大3-2早大

本倉 齋藤龍 1-⑤ 山根・奥村
金子 鈴木 4-⑤ 内本・上松
根本 ④-2 水木
北本・丸山 ⑤-1 因・内田
中平・米澤 ⑤-3 長尾・松本

○明大3-2中大

本倉 齋藤龍 4-⑤ 佐藤・佐藤
金子 鈴木 4-⑤ 丸山・檜山
根本 ④-0 岡部
北本・丸山 ⑤-1 宮崎・古山
中平・米澤 ⑤-1 藤田・橋本

◆5.11.12 関東学生春季1部リーグ戦(白子サニーテニスコート)
念願だった早大への勝利をつかんだ。ボール展開が早い早大に3-2で競り勝った。勢いに乗った明大は中大に勝つもゲーム得点差で国学院大、早大に次ぐ3位。王座決定戦への出場は勝ち取れない厳しい結果となった。

▼男子

明大2-3国学院大○
本倉・齋藤龍 ⑤-3 新沼・三輪
根本・鈴木 2-⑤ 石井・佐藤大
北本 1-④ 谷岡
金子・米澤要 3-⑤ 小出・藤木
中平・丸山 ⑤-3 濱野・佐藤勇

ソフトテニスの明早戦は明大に軍配が上がった。初戦、昨年度秋リーグ戦で敗戦を喫した国学院大にまたも惜敗。しかし「逆に負けたことで吹っ切れたところもあった」(丸山海斗主将・政経4上宮高校)。切り替えて臨んだ2日目、早大戦。シングルスでは根本大地(政経2)大和高田市

立高田商(が)難敵・水木瑠(早大)のフットワークの軽さから生まれる左右に大きく振る球に苦戦を強いられるも「自分の勝ちで流れが変わるかもしれない。流れを変えたかった」(根本)。自分のペースを最後まで崩さずにゲームカウント4-2で勝利を取めた。その後迎えた5番勝負。中平慎吾(農4)尽誠学園・米澤要(営4)能登(ベア)が4年生の意地を見せる。中平の安定したストロークと米澤の絶妙なサイドラインギリギリのボレーがさく裂。「5番という大役にプレッシャーを感じていたが、それを良い緊張感として感じる事ができた」(米澤要)。ゲームカウント5-3で5番勝負を制し、2015年秋以来リーグ戦負けなしの絶対王者・早大から2012年春以来7年ぶりの悲願の勝利をつかみ取った。

インカレまでの道は長い。「今回の3位という結果は悔しいが、少しは今回の結果がインカレまでの何かにつながるのではないかと思う」(米澤要)。インカレは3本勝負の殲滅(せんめつ)戦。今後、ベアが変わっていく可能性は大いにある。本倉健太郎(農3)岡山理大付とのペアで3勝を挙げた齋藤龍二(農1)羽黒やダブル前衛が印象的だった鈴木竜弥(法1)東北など大型ルーキーも加わり、レギュラー争いが加速する明大。彼らがどのような活躍をするのか楽しみだ。

〔内山嶺〕

関東学生選手権大会

北本英幸(コーチ)
「チームみんなで戦うことがある程度定着してきて、選手以外の人も一緒にチームの一員として応援や準備で戦えているところが一番良いところですね」
丸山
「良いところも悪いところも試合に出ました。悪かったところは自分たちの気持ち次第で変えられると思うので、修正していきたいです。早大戦は日体大戦からの勢いのまま良いプレーができたので、昨年度に比べたら少しは成長できたかなと思います」

◆5.14.15(白子サニーテニスコート)

2日間にわたって行われた関東学生選手権で、男子ダブルスで北本・丸山組が優勝。丸山は1年生以来の優勝となった。

女子では、宮下・鈴木がベスト16、原口・上田がベスト8の成績を残したが覇気のない試合を繰り返し反省の多い大会となった。

▼女子

1回戦
西本・柿沼4-⑤ 歌田・山岸(帝京大)
木瀬・宮下⑤-① 徳田・吉田(東経)
2回戦

安西・笠井⑤-1 永井・富田(東経)
原口・上田⑤-① 栄・佐藤(帝京大)
宮下・鈴木⑤-① 阿倍・市岡(日体)
木瀬・宮下⑤-1 岩下・山口(日体)
3回戦
安西・笠井2-⑤ 浅倉・齋藤(日体)
原口・上田⑤-3 松井・高嶺(早大)
宮下・鈴木⑤-2 小山・庄司(東経)
木瀬・宮下4-⑤ 松永・土井(立教)
4回戦
原口・上田⑤-1R 浅倉・齋藤(日体)
宮下・鈴木4-⑤ 小山・川村(早大)
準々決勝
原口・上田1-⑤ 笠井・久保(日体)

▼男子北本・丸山

5回戦 ⑤-3 濱野・佐藤(国学院)
準々決勝⑤-1 山根・岩本(早稲田)
準決勝 ⑤-1 橋本・星野(日体)
決勝 ⑤-3 溝端・山本(日体)



関東選手権大会

◆5.24・25(白子サニテニスコート)
第70回関東ソフトテニス選手権大会が千葉県白子町で開催されました。本学からは男子6チーム女子5チームが出場しました。

男子では、中平・米澤組及び北本・丸山組が準決勝まで進出しましたが共に早稲田大学に敗れ第3位という厳しい結果に終わった。
また、女子は実業団の意識の高さに歯が立たず完敗と終わり多くの課題を残した。今後の活躍を期待するところです。

- ▼男子
- 中平(農4)・米澤(営4)(第3位)
 - ④10町永・相良(古河クラブ)
 - ④11大野・須永(黒潮クラブ、小金原クラブ)
 - ④11雁金・山内(アキム)
 - ④11佐川・高城(前橋商業高校)
 - ④11因・内田(早稲田大)
 - ④10石井・佐藤(國學院大)
 - 11④内本・上松(早稲田大)
 - 北本(商2)・丸山(政経4)(第3位)

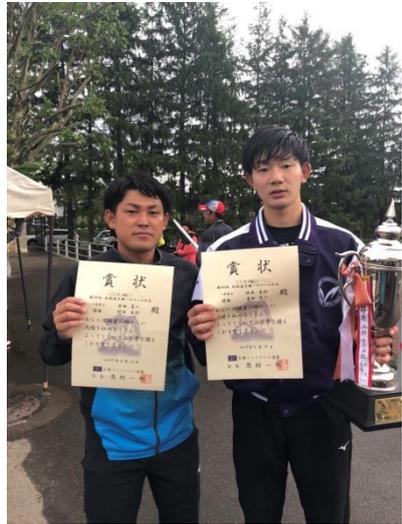


- 3位)
- ④10新谷・矢崎(笛吹高)
 - ④11渡邊・廣富(國學院大)
 - ④12澤田・工藤(横浜創英高)
 - ④11山根・奥村(早稲田)
 - ④13安藤・平井(東京ガス)
 - 31④高倉・松本(早稲田)
 - 金子(営2)・田中(営1)(ベスト8)
 - ④13柴田・石錦(秦野クラブ)
 - ④10岡崎・佐々木(市川クラブ流通クラブ)
 - ④12松本・菅野(川口市役所)
 - ④12紺井・高杉(東海大学)
 - ④13水木・白井(早稲田大)
 - 11④高倉・松本(早稲田大)
 - 本倉(農2)・齋藤(商3)
 - ④13須田・石田(千葉黎明高校)
 - ④12川野部・藤田(茨城・庭球ブライド)
 - ④11藤田・山口(ベスト)
 - ④12熊切・寺沢(せせらぎクラブ)
 - 21④石井・佐藤(國學院大)
 - 根本(政経2)・鈴木(法1)

- ④12原田・田中(日立金属)
 - ④10狩俣・日下(富士通小山)
 - 01④高倉・松本(早稲田大)
 - 米澤(農3)・齋藤(農1)
 - 21④渡辺・櫻井(茨城・土浦ソフトテニスクラブ)
- ▼女子
- 原口・上田
 - ④10田並・斎藤(浦和ファミリ)
 - ④13小澤・橋爪(日大藤沢高)
 - ④13上野・星山(川口市役所・アキム)
 - 01④徳川・黒木(ヨネックス)
 - 木瀬・宮下
 - ④12馬場・細谷(国本女子高)
 - ④10渡辺・榎本(さくらそう)
 - ④11中野・倉本(千代田中)
 - 01④花・濱村(ナガセケンコー)
- ▼女子
- 宮下・鈴木
 - ④11萩島・日高(家政大付属高校)
 - ④12高瀬・安西(小金原・市原クラブ)
 - 21④岡本・脇田(桜倶楽部)
- 安西・笠井
- ④10栗原・中島(白鵬大足利高)
 - ④11川嶋・伊東(相洋高)
 - 21④中川・芝崎(ナガセケンコー)
- 西本・柿沼
- ④12芝地・樋山(敬愛学園)
 - 01④小松崎・江頭(文大杉並)

札幌選手権ソフトテニス大会

男子から鈴木竜弥が出場しました。明治大学OBの吉田さん(平成24年卒)と組み、優勝しました。



東インカレベスト8も収穫あり 東日本大学対抗競技大会

◆6.29 東日本大学対抗競技大会(白子サニテニスコート)

無念のベスト8に終わった。悪天候の影響で本来の機減(せんめつ)戦ではなく3本勝負となった東インカレ。女子は2回戦をストレートで快勝するも、準々決勝の早大戦で敗退を喫した。

▼女子
2回戦
○明大3-0文教大
準々決勝
明大0-2早大○

2回戦の文教大にストレートで勝利し、準々決勝は早大との対戦となった。1番手を任せられたのは、原口美咲(商111中村学園女子)・上田理央(政経311文化学園大杉並)ペア。第1ゲームから原口のトップ打ちが光り、ゲームカウント2-1とリード。しかしその後ミスが目立ち、2ゲームを奪われる。それでも食らい付き、ファイナルゲームまで持ち込むも、あと一歩届かず。続く2番手、木瀬晶絵(政経111須磨学園)・鈴木梨沙(商411和歌山信愛)もゲームカウント2-1で敗れ、チームとしてもストレート負け。「勝てる試合だった」(鈴木)。昨年度のベスト4から一つ順位を落とし、ベスト8に留まった。



月そこをしっかり直していけないといけないなと思います」

「大事なところで決めきれないというのが、大きなところで一つなんですけれど、前衛も触ったボールを簡単にフオーローされてしまい、1本で決めきれないというのが悪いと思うので、残り1か月は1本で決め切る練習というのをやっていきたいです」

東インカレ優勝 夏のインカレ優勝に 手応えあり

◆6・29 東日本大学対抗競技大会
(白子サニードテニスコート)

昨年度準優勝と悔しい結果に終わった東インカレ。朝から雨が降り、一時試合中断になるような悪条件の中でも、初戦から準決勝までストレート勝ち。決勝は宿敵・早大との一戦。一進一退の攻防の末、早大を下し、今季早大に2連勝。夏のインカレ優勝を思わせる結果を残すことができた。

「この1カ月でしっかりと直していく(安西)。悲願の日本一へ。チーム一丸となって駆け上がる。」

安西主将
「今回の東インカレやリーグ戦を振り返って、勝てる試合なのに大事なところで取り切れないというのが、明大の弱さだと思いました。この1か

▼準々決勝
○明大20東北学大
本倉・根本 ④-2 小松・瀬川
北本・丸山 ④-1 木村・石黒

▼準決勝
○明大20法大
本倉・根本 ④-2 近藤・西
北本・丸山 ④-2 稲葉・福田

▼決勝
○明大21早大
本倉・根本 ④-0 因内田
北本・丸山 0-④ 内本・上松
中平・米澤 ④-2 長尾・松本

王者・明治の貴祿を見せつけた。小雨が降る中で行われた今大会。コートコンディションは決して良くはなかったが、初戦から相手を終始圧倒し決勝までストレート勝ち。決勝で待っていたのは、宿敵・早大。1番手の本倉健太郎(農3岡山理大付)、根本大地(政経2高田商)ペアが流れを作る。因京将(早大)の鋭い球に臆せず、本倉の速く奥に伸びるストロークで試合をコントロールし、根本が緩んだボールをすかさずボレー。果敢な飛び出しも多く見られた。「本倉さんとブレがうまくかみ合っていた」(根本)。本倉のストロークと根本の俊敏なボジショニングで、相手を圧倒。ストレート勝ちを収めた。続く2番手は、北本達己(商2高田商)・丸山海斗(政経4上宮)ペアが内本隆文(早大)のキレのあるストロークと上松俊貴(早大)の正確なボレーを前に完敗。「内本をよく知っているが、入りから集中しているのは

あまりない(丸山)と早大陣営のかける思いの強さをうかがわせた。1勝1敗と並び、勝負を決める三番勝負では中平慎吾(農4川尽誠学園)・米澤要(営4川能登)ペアが春リーグに引き続き4年生の意地を見せ、粘り勝ち。早大を2-1で下し、東日本インカレを優勝という形で締めくくった。

インカレ連覇が見えてきた。「今大会で優勝できたことは大きいですが、プレッシャーもある(丸山)。夏のインカレまで油断はしてられない。「変わったことはせず、練習をひたむきに積み上げていくことが大事」(丸山)。また、今大会でもペアが何回か変わる機会があり、ペアのコミュニケーション強化も忘れてはならないポイントである。課題があるにして



も、調子が上向いてきている明大。この勢いを維持できるかがインカレへの鍵となる。
「内山嶺」

東シングルス不正試合

6月29日開催の東日本学生シングルス選手権において、シングルス選手権を出したり前代未聞の試合が発覚しました。

しかも1校だけではなく1部校から3部校まで多くの大学が関わっていました。

令和2年1月現在、いまだ日本連盟の処分が確定せず。また、日本学連は関わった学生の一定期間試合出場停止処分にしたものの原因究明中です。

この事件は学生だけの問題だけではなく連盟役員、大学監督の猛省を促す結果となり学連組織の在り方にも波及しました。

そのため関東学連所属の55名の監督で関東学生ソフトテニス監督会(会長立教大学千葉篤監督)を立ち上げ学生ファーストを掲げ連盟改革(組織改正、規約改正、事業計画見直し等)に向け取り組みを始めています。今後の動向を注視したいと思います。

東日本学生選手権大会



◆72〜3 第74回東日本学生ソフトテニス選手権大会

男子は中平・米澤ベスト4本倉・齋藤ベスト8に入賞するが他チームは精彩を欠き惨敗した。

女子も同じく精彩を欠きベスト16にも入れずインカレに影響を残す結果となった。

▼男子

- 1回戦
 黒瀧・水崎⑤―0前川・立石(千葉商)
 米澤・齋藤2―⑤船井・高杉(東海大)
 根本・鈴木⑤―2三橋・小林(帝京大)
 若林・山口⑤―1常木・古館(国士館)
 中平・米澤⑤―1山中・石部(城西大)
 本倉・齋藤⑤―0山内・辻出(帝京大)
 明渡・野村⑤―0九条・平賀(千葉商)
- 2回戦
 黒瀧・水崎⑤―2山本・戸塚(東海大)
 根本・鈴木3―⑤根本・渡邊(法政大)
 若林・山口0―⑤上口・藤森(学芸大)
 中平・米澤⑤―2端山・原(東海大)
 本倉・齋藤⑤―3平田・青木(青山学)

明渡・野村3―⑤木村・宮村(立教大)
3回戦

黒瀧・水崎0―⑤長尾・松本(早稲田)
 佐藤・丸山⑤―1小貫・君島(東海大)
 中平・米澤⑤―0長沼・近藤(専修大)
 本倉・齋藤⑤―0佐藤・本間(東北学)

4回戦

佐藤・丸山⑤―4山下・澤口(東洋大)
 中平・米澤⑤―1高倉・新沼(早稲田)
 本倉・齋藤⑤―0後藤・増田(早稲田)

5回戦

佐藤・丸山2―⑤高橋・奥村(早稲田)
 中平・米澤⑤―3前川・川嶋(法政大)
 本倉・齋藤⑤―2橋本・星野(日体大)

準々決勝

中平・米澤⑤―2因・内田(早稲田)
 本倉・齋藤1―⑤内本・上松(早稲田)

準決勝

中平・米澤4―⑤内本・上松(早稲田)

▼女子

- 1回戦
 安西・笠井⑤―0青木・原田(東女体)
 宮下・鈴木⑤―0滝口・寺西(山梨学)
 木瀬・宮下⑤―1武藤・野口(東女体)
 西本・柿沼⑤―2佐々木・齋藤(帝京大)
- 2回戦
 安西・笠井2―⑤鈴木・西城(青学大)
 原口・上田4―⑤中村・吉原(立教大)
 宮下・鈴木⑤―4中井・勝又(慶応大)

木瀬・宮下⑤―0常松・加藤(東北福)
 西本・柿沼0―⑤高崎・小松(東女体)

3回戦

宮下・鈴木3―⑤小林・吉田(東女体)
 木瀬・宮下1―⑤山本・古屋(東女体)

コリアカップ2019



◆78〜13 韓国安城市インターナショナルソフトテニススタジアム

コリアカップ2019に本学から北本達己・田中駿平・宮下三太郎の3人が日本を代表し出場しました。国別対抗戦では男女とも3位入賞を果たしています。

東日本選手権大会

◆720〜21 東日本選手権大会(男子浜松市花川運動公園・女子静岡市有度山総合運動公園)

男女とも社会人早稲田の牙城を崩せず2日目初戦で敗退する。インカレに悪い影響がなければと心配だ。頑張れ明治大学。

2回戦

根本・鈴木④―0増田・小柳(静岡)
 米澤・齋藤④―0小柳・油座(東京)
 中平・米澤④―2高橋・鈴木(東京)
 本倉・齋藤④―2山下・松橋(高体連)

3回戦

根本・鈴木④―2及川・南川(神奈川)
 米澤・齋藤④―3御前・松岡(埼玉)
 中平・米澤④―0小山・山本(静岡)
 本倉・齋藤④―1南部・寺田(富山)

4回戦

北本・丸山④―1新井・太田(埼玉)
 根本・鈴木1―④齋藤・安積(埼玉)
 米澤・齋藤④―0飯田・岩崎(神奈川)
 中平・米澤④―1谷口・香山(埼玉)

5回戦

本倉・齋藤④―2大井・東(東京)

5回戦

北本・丸山④―0服田・平山(東京)

5回戦

米澤・齋藤2―④菅家・星野(日体大)

中平・米澤0―④林田・柴田(東京)
 本倉・齋藤2―④粒菜・天池(札幌学)

北本・丸山3―④長尾・松本(早稲田)
6回戦

▼女子

1回戦
 西本・柿沼0―④和田・北脇(千葉)
 原口・上田④―1桑山・持田(高体連)
 宮下・鈴木④―0池田・山形(神奈川)

2回戦

安西・笠井2―④高井・根岸(学連・ナガセ)

4回戦

木瀬・宮下④―0羽淵・中山(福井)
 原口・上田④―1香川・坂東(国学院)
 宮下・鈴木④―0梶間・中村(茨城)

3回戦

木瀬・宮下④―3小山・川村(早稲田)
 木谷・福澤(福井)

4回戦

宮下・鈴木2―④森合・大槻(福島)

4回戦

木瀬・宮下④―2大羅・森松(福島)

4回戦

原口・上田2―④原野・草野(東京・群馬)



関大に惜敗 4年連続のベスト8に終わる／全日本大学対抗選手権



(C) 明大スポーツ

◆8・6・7 全日本大学対抗選手権 (北上市和賀川グリーンパーク)

ベスト4入りは果たせなかった。初日の2試合を勝ち上がり迎えた準々決勝、相手は西日本インカレ優勝の関大。互いに譲らず3次戦までもつれ込むも2-3で試合終了。惜しくもベスト8敗退となった。

〈女子〉1日目

2回戦

- 明大3-0九州産大
- 原口・上田④-1 為藤・永松
- 木瀬・鈴木④-1 山中・高柳
- 宮下・宮下④-1 鴨川・前田

- 3回戦**
- 明大3-0国学院大
 - 原口・上田④-2 梶原・花岡
 - 木瀬・鈴木④-3 8-6 香川・芝
 - 宮下・宮下④-1 久米・坂東

〈2日目〉

準々決勝

- 明大2-3関大
- 原口・上田④-0 数内・古田
- 木瀬・鈴木③-④ 阿久根・中別府
- 宮下・宮下④-2 竹田・中崎
- 原口・上田①-④ 阿久根・中別府
- 宮下・宮下①-④ 阿久根・中別府

勝てない試合ではなかった。第1、第3ゲームは4-0、4-1と難なく勝利を収めた。その後の試合も順調に進むと思われたが、勝機をモノにできず。あと1点でセットが取れるところでせつかくのボールがネットにかかってしまうなど、決めきれない場面が多々見られた。基本的なストロークの質など一つ一つの技術に差はなかったが、「試合に対してのノリや勢いがどちらにも負けていた」(宮下真緒・法3Ⅱ文化学園大杉並)。その結果、2-3でゲームセット。ベスト8で団体戦を終えることとなった。

日本一への挑戦は続く。今回の試合には木瀬晶絵(政経ⅠⅡ須磨学園)、原口美咲(商ⅠⅡ中村学園女子)らのルーキーが出場した。1年生ながら団体戦に出ることに少し緊張もあったが、先輩からの温かい声援が支え

に。1年間チームの先頭に立ち続けた安西美由紀主将(法4Ⅱ昭和学院)はコートの外から声援を送った。先輩からのサポートに「試合前、声をかけてくれた4年生のおかげで楽しくできた」と原口は語った。「みんなが日本一をとって欲しい」(安西)。勝利のためチームを引っ張り、思いやる主将の気持ちは後輩に託された。次期主将は上田理央(政経3Ⅱ文化学園大杉並)。上田率いる新生明治の日本一は目前に迫っている。

「青木優実」

悲願の連覇ならず 早大に阻まれ準々全日本大学対抗選手権

◆8・6・7 全日本大学対抗選手権 (盛岡市太田テニスコート)

2連覇には惜しくも届かなかった。初戦から快調な滑り出しを見せ、準決勝では関大を3-2で撃破。決勝に待っていたのはライバル・早大。昨年、創部初の優勝を成し遂げ連覇を目指すも、最後まで早大リードの試合展開を変えられず0-3で敗戦。悲願の連覇は果たすことはできなかった。

〈男子〉1日目

- 明大3-0東大
- 金子・鈴木④-0 藤田・大竹
- 北本・米澤④-1 河村・小久保

- 本倉 根本 ④-1 高瀬・和田

3回戦

- 明大3-0帝京大
- 本倉 根本 ④-1 望月・安田
- 北本・丸山 ④-1 広瀬・佐野
- 中平・米澤 ④-0 長壽・龍澤

4回戦

- 明大3-0東北福祉大
- 本倉 根本 0-④ 高木・松田
- 北本・丸山 ④-1 星・早坂
- 中平・米澤 ④-0 浅間・工藤
- 北本・丸山 ④-1 高木・松田

〈2日目〉

準々決勝

- 明大3-0四日市大
- 本倉 根本 ④-2 徳丸・原村
- 北本・丸山 ④-3 柳田・篠原
- 中平・米澤 ④-0 森・榛葉

○明大3-2関大

- 本倉 根本 3-④ 阪本・飯田
- 北本・丸山 ④-0 花岡・奥村
- 中平・米澤 ④-0 谷口・増田
- 北本・丸山 2-④ 阪本・飯田
- 中平・米澤 ④-2 阪本・飯田

決勝

- 明大0-3早大
 - 本倉 根本 3-④ 因 岩本
 - 北本・丸山 2-④ 内本・奥村
 - 中平・米澤 0-④ 長尾・松本
- 最後に立ち上がるのはいつも赤い壁だ。決勝の相手は、過去何度も優勝の決する場面で対戦してきた早大。明大は今年、春季リーグ戦、東インカレと続けて早大を撃破し、昨年以上に優勝に期待が掛けられてい

た。第1試合では本倉健太郎(農3Ⅱ岡山理大付)・根本大地(政経2Ⅱ大和高田市立高田商)ペアが果敢な攻撃をするも、ファイナルゲームで惜しくも敗戦。なんとか流れをつくりたい大将ペア、北本達己(商2Ⅱ大和高田市立高田商)・丸山海斗主将(政経4Ⅱ上宮)ペアの前に内本(早大)の打点が高くコートの角を突くストロークが火を噴く。丸山さんに攻撃してもらったために、内本さんのボールをうまく配球しようとしたが、押し切られてしまった(北本)。最後まで勢いを取り戻せずに2-4で敗戦。続く中平慎吾(農4Ⅱ尽誠学園)・米澤要(営4Ⅱ能登)ペアも敗れ、0-3と悲願の2連覇には届かない結果となった。

「次の日の個人戦で、優勝者を明治から出せるように」(丸山)。団体



(C) 明大スポーツ

戦では目標の2連覇を果たすことはできなかったが、残る個人戦でも日本一を狙える実力は健在だ。4年生は最後の試合。一つでも多く、貪欲に勝利をつかみ取る。

〔内山嶺〕

中平・米澤要悲願の優勝まであと一歩及ばず 全日本学生選手権

◆8/8/9 全日本大学対抗選手権(盛岡市立太田テニスコート他)
頂点はあと少しだった。中平慎吾(農4)尽誠学園・米澤要(農4)龍巻ペアにとって泣いても笑っても最後となったダブルス決勝戦。対戦相手はおとこの団体戦で敗北を喫した長尾・松本ペア(早大)。意地を見せ勝ち切りたいところではあったが、結果は振るわず、準優勝という結果に終わった。



▼男子

- 1回戦
金子・佐藤3-4上田・清水(松山)
若林・山口0-4藤原・吉坂(大阪体)
黒瀧・水崎3-4松山・山口(天理)
明渡・野村1-4坂田・林(大阪体)
根本・鈴木4-0窪田・右田(神戸)
2回戦
中平・米澤要4-1猿田・小柏(学芸)
本倉・齊藤4-1溝内・梶川(竜谷)
北本・丸山4-2藤原・西田(星城)
米澤優・齋藤龍3-4富里・杉山(立命館)
根本・鈴木4-1奥田・熊手(松山)
3回戦
中平・米澤要4-1波多野・村瀬(愛知)
本倉・齊藤4-3西岡・西(高知工)
北本・丸山4-0松本・川内(大阪成蹊)
根本・鈴木4-1田中・辻岡(関西学)
4回戦
中平・米澤要4-1山根・安谷(早稲田)
本倉・齊藤4-0稲福・上中(同志社)
北本・丸山4-1及川・後藤(同志社)
根本・鈴木4-2西口・嶋田(天理)
5回戦
中平・米澤要5-2渡邊・佐藤(国学院)
本倉・齊藤5-4森・吉川(福岡大)
北本・丸山5-0真玉・栗山(福岡大)
根本・鈴木4-5高橋・奥村(早稲田)
6回戦
中平・米澤要5-4谷口・大橋(関西大)
本倉・齊藤5-2根本・渡邊(法政大)
北本・丸山2-5溝端・山本(日体大)
準々決勝
中平・米澤要5-1溝端・山本(日体)
本倉・齊藤2-5阪本・飯田(関西大)

準決勝

- 中平・米澤要5-1水木・白井(早稲田)
決勝
中平・米澤要1-5長尾・松本(早稲田)
雪辱を果たすことはできなかった。決勝の相手はおとこの団体戦でも戦った長尾・松本ペア。「ずっとやってきた相手。その中でどう駆け引きするかが重要だったと思う」(米澤要)。試合序盤にミスが続き2ゲーム連取され勢いを盛り返したい3ゲーム目。米澤要のキレのあるクロスボレーと中平の絶妙なフォロウがさえ渡り1ゲームを盛り返す。しかしその後、長尾・松本ペアの安定したゲーム展開の中、自分たちの勢いを盛り返すことができずに敗戦。優勝というビッグタイトルをつかむことはできなかった。

中平・米澤要ペアにとって今大会の準優勝は過去最高成績となった。「ペアが米澤で良かったです。信頼してプレーもできていました」(中平)と信頼関係が、今までの勝ちにつながっていた。ダブルスとしてはもう試合のない二人ではあるが、明日にはシングルスが控えている。各々が思うことを胸に、最後の戦いへと挑む。

〔内山嶺〕

▼女子

◆8/8/9 全日本学生選手権(和賀川グリーンパーク)
奮闘するも取り切れず 原口・上田ペアがベスト16敗退

1日目を勝ち上がり迎えた2日目。

- 原口美咲(商1)中村学園女子)・上田理央(政経3)文化学園大杉並ペアがベスト16に進出。続く早大とのベスト8決めで自分たちのプレーが出し切れず敗北。悔いの残る結果となった。
1回戦
西本・柿沼3-4中野・増田(関西外)
2回戦
原口・上田4-0風村・生田(中京大)
宮下・宮下4-1好光・植月(神戸松蔭)
安西・笠井2-4山崎・堀(中京大学)
木瀬・鈴木4-0岡本・松崎(熊本学)
3回戦
原口・上田4-1浅倉・齊藤(日体大)
宮下・宮下4-2藤城・杉原(中京大)
木瀬・鈴木4-2三輪・岡田(天理大)



4回戦

原口・上田④③(F・I)森・菊山(大阪成蹊)

宮下・宮下3④宮田・對馬(北翔大)
木瀬・鈴木④①田川・中西(同志社女子大学)

5回戦

原口・上田⑤④高井・生方(東女体)
木瀬・鈴木2⑤林田・島津(東女体)

6回戦

原口・上田0⑤小山・川村(早稲田)

相手のペースに押されてしまっ

た。原口・上田ペアは東女体大との試合をファイナルゲームで制し、ベスト8決めに臨んだ。相手は対戦歴の多い小山・川村ペア(早大)。相手のプレーを知っているからこそ「何をしてくるのだろう」(上田)と頭で考えてしまった。各ゲーム競り合いながらも4ゲームを連取され迎えた第5ゲームの1ポイント目。原口が前衛の脇を抜く見事なレシーブを見せるも流れをつかみ切れず。「相手の後衛が4年生で最後のインカレなので、強い気持ちに押された」(原口)。必死に食らいつき健闘するも0-5でストレート負け。ベスト8の壁を越えることはかなわなかった。

次の舞台へ。4年生の安西美由希主将(法4)昭和学院に代わりこれから主将を務める上田。3人の4年生からは「仲が良いからこそ、勝つためには校内でも競い合う気持ちがある

と必要だ」と声を掛けられた。厳しいところは厳しく区別をつけられるチームにしていきたい(上田)。個人としては悔いの残る試合となったが、今大会でベスト16となったため皇后杯への出場権を手に入れた。また、9月末には秋のリーグ戦も控えている。チャンスをモノにすることができたとき、明大の新しい時代がやってくる。

因縁対決で敗れる 丸山準優勝 全日本学生シングルス

◆8月10日 全日本学生シングルス
選手権(盛岡市立太田テニスコート)5日間に渡るインカレの最終日に行われたシングルス選手権。男子は丸山海斗主将(政経4)上宮が準優勝、女子は笠井菜々子(法2)広島修道大鈴峯女子がベスト16という結果



(C)明大スポーツ

で締めくくった。他



▼男子
丸山海斗 準優勝
中平慎吾 ベスト4
本倉健太郎 ベスト8
北本達己 ベスト16
米澤要 2回戦敗退

有終の美を飾るあと1勝が届かなかった。今大会のファイナルとなったシングルス決勝には丸山主将の姿があった。対戦相手となったのは高校時代に共にインターハイを制した元ペアの内本(早大)。加えて両校主将対決という熱戦で「最後は勝ちたいという思いが出た」(丸山)ことが裏目に。立ち上がりのペースを奪われ、終盤に追い上げを見せたが逆転かなわず、2-4で試合は終了。それでも「最後は内本と対戦できて良かった」(丸山)と清々しい閉幕となった。

団体、ダブルス、シングルスと全部門において宿敵早大に次ぐ準優勝と悔しいシルバークレクターとなったしまった今大会。この雪辱を糧に、秋リーグからは本倉健太郎新主将(農3)岡山理大付の下で王者奮還を目指しに行く。

▼女子
笠井菜々子 ベスト16
西本明日香 2回戦敗退
鈴木梨沙 1回戦敗退

気持ち試合を左右した。3回戦までをストレートで勝ち上がった笠井菜々子(法2)広島修道大鈴峯女子は、ベスト8を懸けて林田(東女体大)と対戦。序盤は日本代表でもある林田に圧倒され、1ポイントも奪えないままゲームを先取された。しかし第3ゲームを制す息を吹き返す。絶妙な配球で相手を翻弄(ほんろう)し挽回を図るも、最後はミスを連発。2-4で敗北を喫した。



決して勝てない相手ではなかった。格上との対戦に「負けると思って

レーしていた」と弱腰だった笠井。だが第3ゲームを取ったことで気持ちにスイッチが入った。「最初からいけると思っていたら勝てたかもしれない」(笠井)。メンタル面での課題が浮き彫りとなった。次に臨むのは9月に控える秋季リーグ戦。新チームの初陣で明大旋風を巻き起こしてみせる。「木田諒一朗・大橋未来」

丸山
◆決勝戦にはどのような気持ちで臨まれましたか。
「監督からも一つは勝ちたいと言われて勝つ気がないということではないですが、元ペア対決なので楽しんで対決できればと思っていました」

◆この4年間を振り返っていかがでしたようか。
「4年間やってきて正直良くないというか熱が入らない時期もありましたけど、周りの人の助けもあってやり切れて最後は全て2位で終わりましたが、充実していたと思います」

◆本倉新主将に伝えたいことはありますか。
「僕の代では2連覇を目指していましたが、勝ち切れなかったの、そこを目指して日々取り組んでほしいです。あとは主将が頑張っていれば下の人は付いてくるので、同期も付いてくるので、自分の考えを信じてやってほしいと思います」

第26回JOCC杯 ジュニアソフトテニス選手権

◆9/21～22 JOCCジュニアオリンピックカップ大会／第26回(全日本ジュニアソフトテニス選手権大会)(広島市中央庭球場)

明治大学からは、男子は北本達己、斎藤龍二女子は宮下こころが出場しました。



北本(商2)がU20の部で法政大学の福田選手と組み3位入賞を果たしました。

また、女子の部では宮下こころ(経営2)も東京女子体育大学の片野選手と組み3位入賞を果たしました。

広島島のOBの皆さんには大変お世話になりました。御礼申し上げます。

いきいき茨城ゆめ国体

◆9/28～10/2 第74回国民体育会いきいき茨城ゆめ国体2019(磯原地区公園庭球場)

明治大学からは男子9名、女子2名が出場した。今年は成年男子が地区予選もないこともあって卒業生も多く参加、明治関係者同士の熱戦も繰り広げられた。また、茨城県ソフトテニス連盟下妻会長(昭和52卒)の「尽力によりOB会懇親会も盛大に開催出来ました」と心から感謝申し上げます。

出場者
山形県 齋藤 龍二(農1)
福島県 鈴木 竜弥(法1)
茨城県 金子 大祐(営3)
千葉県 齋藤 大樹(商3)
石川県 米澤 要(営4)

北本 達己(商2)
大阪府 丸山 海斗(政経4)
奈良県 根本 大地(政経2)
岡山県 本倉 健太郎(農3)
新潟県 上田 理央(政経3)
福岡県 原口 美咲(商1)
本倉健太郎の活躍で岡山県が3位入賞を果たす。



天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権

◆10/24～26 天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会(北上市和賀川グリーンパーク)

男子
北本・丸山4―5 附田・渡邊(青森)
中平・米澤4―5 伊藤・榎原(東京)
本倉・齋藤5―4 黒木・山口(愛知)
近藤(法政)・齋藤4―5 高橋・高洲(埼玉)

平本(高体連)・金子4―5 青木・奥島(愛媛)
3回戦
本倉・齋藤3―5 宮下・的場(兵庫)

女子
1回戦
宮下・田川(同志社女子)5―2 三好・牧野(高体連)
2回戦
木瀬・宮下5―0 三上・馬場(青森)
原口・上田5―2 矢野・松村(大阪)
宮下・田川3―5 田辺・川口(広島)
3回戦
木瀬・宮下5―4 真野・上野(東京)
原口・上田5―2 中村・村上(福岡)
4回戦
木瀬・宮下3―5 本吉・石田(京都)
原口・上田1―5 植田・石井(京都)

新体制スタート 初戦は3位入賞 関東学生秋季1部リーグ戦

木瀬・宮下5―3 廣澤・鈴木

○明大2―1 日体大

原口・上田5―2 黒田・久保

笠井0―4 酒井

木瀬・宮下5―4 鈴木・桑名

明大1―2 東女体大○

原口・上田2―5 小林・吉田

宮下真0―4 片野

木瀬・宮下5―4 高崎・小松

○明大2―1 早大

原口・上田5―2 松井川村

宮下真2―4 吉田

木瀬・宮下5―3 下江・高嶺

◆11/2～3 関東学生秋季1部リーグ戦(國學院大淵野辺グラウンド)

上々の滑り出しとなった。4年生が引退し新チームで臨んだ秋季リーグ戦。日体大に勝利するなど健闘し4勝1敗で大会を終えた。新たな門出で確かな感触を得た。

○明大2―1 慶大

原口・上田5―0 荒木・平本

笠井2―4 遠藤

木瀬・宮下5―4 草野・中井

○明大3―0 青学大

原口・上田5―0 赤司・保科

笠井4―1 桑野



○明大スポーツ

大一番を制した。全勝のまま迎えた日体大戦。勝敗の決する3番手で回ってきたのは木瀬晶絵(政経1)須磨学園・宮下こころ(営2)文化学園大杉並)ペア。第一ゲームを先取するもその後はサーブゲームが取れず一進一退の攻防のまま試合はファイナルゲームへ。4-2の場面、先に攻めたのは明大だ。木瀬のつないだボールを宮下がスマッシュで得点。「自分がやらないと」とブレで後輩を引張った。流れそのままに7-3でゲームを制し、見事日体大に勝利。得失点差で3位となるも、強豪を下し幸先良い新チームスタートを切った。

関東学生リーグ戦 3位に終わる男子



戦いは始まったばかりだ。インカレを終えてから、「先に攻めるテニス」を全員で意識し、練習量を増やしてきた。そんなチームの新しい主将となったのは上田理央(政経3)文化学園大学(杉並)だ。他校よりも人数の少ない明大のメンバーに対し「一人一人が声を出さなければいけない」(上田)と鼓舞。頼もしい主将の下、練習も明るく楽しくやれている(宮下)。来年のインカレでは今年こそ日本一へ。チームは悲願達成へ向けて歩み出した。【青木優美】

上田 主将として大変だと感じることはありますか。
「他の大学に比べて人数が少ないので、まとめる分にはまとまってると思います。でも、その分一人一人の力、応援の力などが大事になってくるのでちゃんと声を出していかないと勝てないよとは伝えました。それにみんなも付いてきてくれてると思います。」

◆11.25.3 関東学生秋季1部リーグ戦(早稲田大学所沢キャンパス)

初日4年生の小平を起用し優勝を狙ったが、早稲田にリードするも手痛い逆転負けで優勝の夢は消えてしまった。その後もオーダーがかみ合わず秋季リーグは3位と終わる。新体制で来春のリーグ優勝を目指しこれからの努力を多に期待する。

- 明大④―1日体大
本倉・齋藤⑤―2村田・森田
金子・鈴木⑤―4橋本・菅家
根本①―④溝端
- 明大④―1東経大
本倉・齋藤⑤―2田辺・小野
金子・鈴木⑤―3武井・小宮山
米澤(優)④―2小坂
- 明大④―1東経大
本倉・齋藤⑤―2栗原・石毛
北本・田中④―⑤金子・渡辺
- 明大②―③早稲田○
本倉・齋藤⑤―②後藤・増田
金子・鈴木①―⑤水木・上松
根本④―①高倉
- 明大④―①東経大
本倉・齋藤⑤―⑤福井・安谷
北本・田中①―⑤山根・内田

明大2―③國學院○ 本倉・齋藤⑤―②渡邊・岡崎 金子・鈴木①―⑤濱野・佐藤 根本①―④下田

- 米澤(優)・齋藤龍②―⑤小出・藤木
北本・田中⑤―③新沼・佐藤(大)
- 明大2―③法政○
本倉・齋藤⑤―③下平・福田
金子・鈴木⑤―④井上・洞谷
根本③―④近藤
- 米澤(優)・齋藤龍①―⑤根本・渡邊
北本・田中⑤―③前川・西



関東学生大学対抗戦

◆11.9.10 関東学生大学対抗戦(早稲田大学所沢キャンパス他)

インカレに出場しなかったチームによる大学対抗戦本学からは1チームメンバーを組み出場した。

- 1回戦
明大③―①慶應義塾大学D
米澤・齋藤(龍)④―②今泉・竹元
野村・齋藤(大)①―④栗原・野口
米澤・齋藤(龍)④―①尾崎・須藤
米澤・齋藤(龍)④―①栗原・野口
- 2回戦
明大③―①首都大学B
野村・明渡④―①徳若・渡辺
米澤・齋藤(龍)④―②山岸・光岡
野村・明渡④―③北之原・佐藤
- 3回戦
明大③―①東京学芸大学A
米澤・齋藤(龍)④―②相上・神津
明渡・齋藤(大)④―②猿田・小柏
米澤・齋藤(龍)②―④上口・藤森
明渡・齋藤(大)④―③上口・藤森
- 4回戦
明大③―①國學院大学A
明渡・齋藤(龍)①―④安居・廣富
野村・田中④―②下田・岡崎
米澤・齋藤(大)④―①谷岡・三輪
野村・田中④―①安居・廣富
- 5回戦
明大2―③法政大学A
明渡・齋藤龍③―④根本・渡邊
野村・田中①―④近藤・福田
米澤・齋藤(大)④―③前川・西
米澤・齋藤(大)④―③根本・渡邊
米澤・齋藤(大)③―④近藤・福田

東京6大学秋季リーグ戦

◆11.30.12.1 東京6大学秋季リーグ戦(早稲田大学所沢キャンパス) 男子5位、女子3位に終わる

- ▼男子
対立教大学③―④
明渡・齋藤龍③―⑤高畑・宮村
丸山・若林①―⑤原・内田
佐藤・山口①―⑤木村・山館
本倉・齋藤(大)⑤―①田島・齋藤
金子・田中⑤―②永田・上西
根本・鈴木⑤―④久保・渡邊
野村・水崎①―⑤小倉・大関
- 対法政大学③―④
明渡・齋藤龍⑤―③根本・渡邊
丸山・若林⑤―④土佐・洞谷
佐藤・山口①―⑤吉田・櫻井
本倉・齋藤(大)③―⑤近藤・福田
金子・田中⑤―①下平・道下
根本・鈴木③―⑤井上・藤本
野村・水崎③―⑤前川・西
- 対早稲田大学③④
本倉・齋藤(大)②―⑤後藤・増田
根本・鈴木②―⑤高倉・新沼
若林・水崎①―⑤水木・上松
金子・田中⑤―①福井・安谷
明渡・齋藤龍⑤―②人見・宇野
野村・丸山⑤―①松村・高木
山口・佐藤①―⑤山根・内田

対慶應義塾大学⑤-2

北本・根本⑤-0 中川・中島
野村・丸山⑤-0 武藤・中牟田
若林・水崎①-⑤ 小田島・小杉
金子・田中⑤-1 和田・尾崎
明渡・齋藤龍⑤-0 梁・横田
米澤・鈴木⑤-1 櫻井・小坂橋
山口・佐藤①-⑤ 村野・浜田
対東京大学⑦-0

北本・根本⑤-0 高瀬・和田
野村・丸山⑤-0 小倉・陣駒
若林・水崎⑤-0 藤田・瀬尾
金子・田中⑤-1 河村・大竹
明渡・齋藤龍⑤-0 星・森山
米澤・鈴木⑤-0 加藤・小久保
山口・佐藤⑤-2 田中・北岡

▼女子

対慶應義塾大学②-1
木瀬・宮下⑤-3 遠藤・花岡
宮下・柿沼③-⑤ 勝又・中井
原口・上田⑤-0 荒木・平本

対早稲田大学①-②

原口・上田⑤-0 須田・吉田
宮下・柿沼①-⑤ 松井・渡邊
木瀬・宮下②-⑤ 下江・高嶺

対法政大学③-0

原口・上田⑤-0 中村・永野
木瀬・宮下⑤-0 原・柏耆原
宮下・笠井⑤-0 松村・金子

対立教大学①-②

木瀬・宮下②-⑤ 中村・吉原
原口・上田⑤-3 前山・森本
宮下・笠井④-⑤ 森岡・石田

集大成の初タイトル！ 中平・米澤要ペアが日本一 全日本学生選抜インドア



決勝

⑤-3 根本・渡邊(法政大学)

予選ブロックを勝ち上がり、中平・米澤要ペアは決勝で根本・渡邊ペア(法大)と対戦した。2ゲームを連取され、続く第7ゲームは中平のフォアハンドで先制に成功。2ポイント目もコート外に出された中平を米澤要がカバー。「コート中を走り回ろうと思つて(米澤)。米澤要が次々とスマッシュを決めると、負けじと中平の強打がさえる。息の合ったプレーで流れを取り戻し、迎えた第8ゲームはデユースにもつれ込むも焦らず。最後は8回続いたラリーを中平が制し、ゲームカウント5-3で優勝を決めた。

今年残すは関東学生選抜インドア選手権。中平・米澤要ペアでの戦いもあと一つとなった。常にトップで戦ってきた4年間。ラストは日本一の肩書きを胸に、先頭を走り抜く。

「福田夏希」

最後のチャンスだった今大会。楽しんでやろうと声を掛け合い、悲願の初タイトルを手にした。米澤要は競技人生を通して、個人で初の日本一。「言葉に表せないくらいうれしい」。ペアで頂点を目指し続けた努力が、ようやく実を結んだ。

うれしい初タイトルだ！ 学生ランキング12位までが出場できる今大会。中平慎吾(農4)尽誠学園・米澤要(営4)能登ペアが優勝を果たした。明大勢の優勝は第40回大会以来13年ぶり。学生最後の全国の舞台上でいに頂点に立つてみせた。

◆12-1 全日本学生選抜インドア選手権(小田原アリーナ)

▼男子の部

中平・米澤要ペア 1位

本倉・齋藤大ペア Cブロック敗退

予選リーグ

中平・米澤

④-3 因・内本(早稲田大学)

④-0 山根・岩本(早稲田大学)

本倉・齋藤

3-④ 溝端・山本(日本体育大学)

3-④ 高橋・奥村(早稲田大学)

準決勝

⑤-3 溝端・山本(日本体育大学)

「ずつと2位3位だった(中平)。入学直後から4年間、ペアで継続して結果を残してきた。今年は関東学生選手権、東日本学生選手権ともに3位。だが、ただ優勝の2文字だけが遠く。集大成で挑んだ8月のインカレも、ライバルに敗れ準優勝だった。そして日本一へ



関東学生選抜インドア大会 ◆12-8(小田原アリーナ)

本学から男子3チーム、女子1チームが出場した。順調に1回戦を勝ち上がり4チームとも準々決勝に勝ち上がった。結果は本倉・齋藤準優勝に終わる

1回戦

北本・丸山⑤-2 水木・白井(早稲田)

本倉・齋藤⑤-0 金子・渡辺(東経大)

中平・米澤⑤-2 川崎・川上(日体大)

原口・上田⑤-1 浅倉・齋藤(日体大)

準々決勝

北本・丸山③-⑤ 橋本・星野(日体大)

本倉・齋藤⑤-1 長尾・松本(早稲田)

中平・米澤④-⑤ 高倉・内田(早稲田)

原口・上田③-⑤ 林田・島津(東女大)

準決勝

本倉・齋藤⑤-4 橋本・星野(日体大)

決勝

本倉・齋藤③-⑤ 内本・上松(早稲田)

2019 年度明治大学体育会ソフトテニス部事業報告書

1(公財)日本ソフトテニス連盟及び日本学生ソフトテニス連盟等の主催大会への参加
冊子のとおりの多くの大会へ参加し2019年度は東日本大学対抗においては優勝したものの全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会では、団体、個人、シングルス共に準優勝に終わった。

2 他大学との交流試合

- (1) 立教大学定期戦を12月14日立教大学テニスコートにおいて開催した。
- (2) 5月1日～3日までトヨタスポーツセンターにおいて、ダンロップ(株)、アドマテックス(株)、トヨタ自動車(株)、太平洋工業(株)と交流試合を開催した。

3 強化合宿

- (1) 春合宿を3月20日～24日北茨城市磯原地区公園テニスコートで開催した。
- (2) インカレ前合宿を8月3日～4日まで岩手県で開催した。
- (3) 冬合宿を12月26日～28日まで生田キャンパスで開催した。

4 卒業生送別会及び新入生歓迎会等の実施

歓送迎会・保護者会を3月17日にアカデミーコモンで開催した。

5 大学及びソフトテニス関係団体との交流

山中セミナーハウスで開催したリーダーズキャンプはじめ新入生オリエンテーション等へ参加した他、合宿及び強化練習会を通じ中高生との交流を図った。

6 その他の事業

- (1) 総会を3月13日生田キャンパスで開催した他、定期的に幹部会を開催した。
- (2) 2020年度スポーツ特別入学試験概要説明会を8月20日に開催した
- (3) OB会が運営するホームページへ情報提供を実施した他、Twitterにより随時その情報を掲載、活動状況報告書の作成など広報活動事業を積極的に展開した

2020 年度役員

男子 主将 本倉健太郎 副将 金子大祐 齋藤大樹 北本達己 寮長
本倉健太郎 主務 水崎大輔
渉外 佐藤大資 米澤優
女子 主将 上田理央 副将 宮下真緒 寮長 宮下こころ 主務 林
七海 笠井菜々子
渉外 原口美咲 木瀬晶絵 柿沼明里

部員 23名

3年生

本倉健太郎(農学部 岡山理大附属高校) 金子 大祐 (経営学部 高田商業高校) 齋藤 大樹(商学部 木更津総合高校) 水崎 大輔(総合数理学部 金津高校) 佐藤大資(政治経済学部) 宮下 真緒(法学部 文化学園大学杉並高校) 上田 理央(政治経済学部 文化学園大学杉並高校) 林 七海(経営学部 京都成章高校)

2年生

根本大地(政治経済学部 高田商業高校) 北本達己(商学部 高田商業高校) 米澤優(農学部 能登高校) 明渡隆一(理工学部 開智高校) 山口裕也(理工学部 東洋大牛久高校) 野村和正(文学部 土佐高校) 黒瀧太斗(商学部 弘前実業高校) 宮下こころ(経営学部 文化学園大学杉並高校) 笠井菜々子(法学部 広島修道大学附属鈴峯女子高校)

1年生

齋藤龍二(農学部 羽黒高校) 田中駿平(経営学部 上宮高校) 鈴木竜弥(法学部 東北高校) 原口美咲(商学部 中村学園高校) 木瀬晶絵(須磨学園高校) 柿沼明里(和歌山信愛高校)

卒業生



丸山海斗 政治経済学部 上宮高校	安西美由希 法学部 昭和学院高校	米澤 要 経営学部 能登高校	鈴木梨沙 商学部 和歌山信愛高校	若林昌毅 法学部 長野高校	西本明日香 商学部 明治高校	中平慎吾 農学部 辰誠学園高校
------------------------	------------------------	----------------------	------------------------	---------------------	----------------------	-----------------------

2019 年度新入生紹介



- | | | | |
|---------|-------|------------|---------------------|
| ① 澤田 吉広 | 法学部 | 羽黒高校 | 全国高校総体団体戦準優勝 |
| ② 白川 雄己 | 農学部 | 尽誠学園高校 | 全国高校総体個人・団体戦優勝 |
| ③ 池口 季将 | 政治経済部 | 高田商業高校 | 全国高校総体団体戦優勝 |
| ④ 西東 彩菜 | 商学部 | 文化大学附属杉並高校 | 全国高校総体団体優勝 |
| ⑤ 齋木菜々花 | 経営学部 | 昭和学院高校 | 全国高校総体個人戦ベスト8 |
| ⑥ 青木 珠美 | 法学部 | 大阪薫英女学院高校 | 大阪高等学校総合体育大会個人戦 5 位 |

入部を希望される皆さんへ

明治大学ソフトテニス部は、明治 38 年に創部され、今年で 114 年を迎えました。明治大学のサークルの連合組織である大学学友会が 1906(明治 39)年に置かれると同時期に創設されており、体育会の初期の時代から存在する歴史と伝統を誇るクラブであります。

これまで、世界選手権保持者 4 人、全日本選手権保持者 6 人の他、硬式テニスに転向しウインブルドンにも出場した畠中君代選手をはじめ多くのアスリートを輩出して参りました。

【最近の競技成績】

2019 年度:全日本大学対抗戦 男子準優勝 女子ベスト 8
東日本大学対抗戦 男子優勝

【練習場所】

男子:川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス
女子:川口市上青木 3-1-40 川口市立高校

【練習日時】

練習日・日時:平日 16:00~19:00 土・日 9:00~16:00
月曜日休み
但し授業優先が原則です。全員が揃って練習できるのが土・日となります。

【合宿所】

スポーツ特別入学試験合格者は合宿所入寮となります。

【年間経費】

部 費: 月 3,000 円 寮 費: 月 27,000 円(合宿所入居者:家賃・光熱水費等合宿所運営費)
積立金:130,000 円(関東リーグ・東日本学生選手権・全日本学生選手権宿泊費)
その他:冬・春合宿費 20,000~30,000 円
交通費及び学生以外の大会(一般の試合):個人負担

2020 年度 主な事業

ソフトテニス部総会	3/10	生田キャンパス
保護者会歓送迎会	3/15	アカデミーコモン
春合宿	3/23~27	能登町(男子)
卒業式	3/23	両国国技館
入学式	4/7	両国国技館
東京 6 大学リーグ戦	4/未定	早稲田大学
連休休日授業	4/29・5/3~5	
アジア大会予選会	5/4~5	四日市市
関東学生春季リーグ	5/9~13	白子町
関東選手権大会	5/30~31	那須塩原市他
東日本学生選手権	7/11~15	白子町
東日本選手権	7/18~19	札幌市他
定期試験	7/15~22	
全日本学生選手権	8/5~10	七尾市・能都町
国民体育大会	10/9~12	鹿児島市
全日本選手権	10/23~25	一宮市
全日本学生インドア	11/16	小田原アリーナ

(株)ルーセントより協力金及びボールの無償提供を受け今年も部活動を円滑に運営出来ました。又、ヨネックス(株)よりラケット及びシューズの貸与を受けました。ご協力に心から感謝申し上げます。 部員一同

部の活動にあたりご寄付を頂きました皆様!ご支援ありがとうございました。

河村一喜 重田衛 太田三郎 田上淳 矢野毅 櫻井智明 下妻利之 中田吉秋 望月友美佳 (敬称略)
OB 有志

未来サポーター募金に協力を頂きました。ご支援ありがとうございました。
冨家直樹 鶴田賢了 新保俊彦 小野ゆり 中村明夫 (敬称略)

明治大学体育会ソフトテニス部部員



丸山海斗 米澤 要 中平慎吾 4年間の軌跡



全日本大学対抗選手権大会 2016年3位 2017年準優勝 2018年優勝 2019年準優勝
 東日本大学対抗競技大会 2016年3位 2017年準優勝 2018年準優勝 2019年優勝
 全日本大学王座決定戦 2018年準優勝

個人戦績

関東学生選手権大会	丸山 2016年 2019年 優勝	中平・米澤 2017年準優勝
関東選手権大会	丸山 2018年準優勝 2019年3位	中平・米澤 2019年3位
関東学生シングルス選手権	丸山 2017年準優勝	中平 2017年3位
東日本学生選手権大会	丸山 2016年準優勝	中平・米澤 2017年 2019年 3位
東日本学生シングルス選手権	米澤 2016年 2018年準優勝	
東日本選手権大会	丸山 2017年 2018年 3位	
全日本学生選手権大会	丸山 2017年優勝	中平・米澤 2016年3位 2019年準優勝
全日本学生シングルス選手権	丸山 2019年準優勝	中平 2019年3位
全日本学生選抜インドア	丸山 2017年準優勝	中平・米澤 2019年優勝
アジア選手権大会ダブルス	丸山 2016年準優勝	



明大スポーツ新聞部に感謝！感謝！

福田夏希さん 青木優実さん 大橋未来さん 内山嶺さん 木田諒一朗さん いつも素晴らしい記事を掲載して頂きありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。

明治大学体育会ソフトテニス部一同

編集

明治大学体育会ソフトテニス部 男子合宿所

〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田2丁目5404番4号

明治大学体育会ソフトテニス部女子寮

〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-8-4